

芽室町総合計画審議会・専門部会

# 総合計画および 施策評価について

---

芽室町役場政策推進課

# 1. はじめに

---

- ①総合計画について
- ②総合計画審議会・専門部会の役割
- ③施策評価について

上記3点についてご理解いただき、  
次回(第2回以降)の審議会・専門部会に  
安心して参加していただけるようになること。

## 2. 総合計画とは



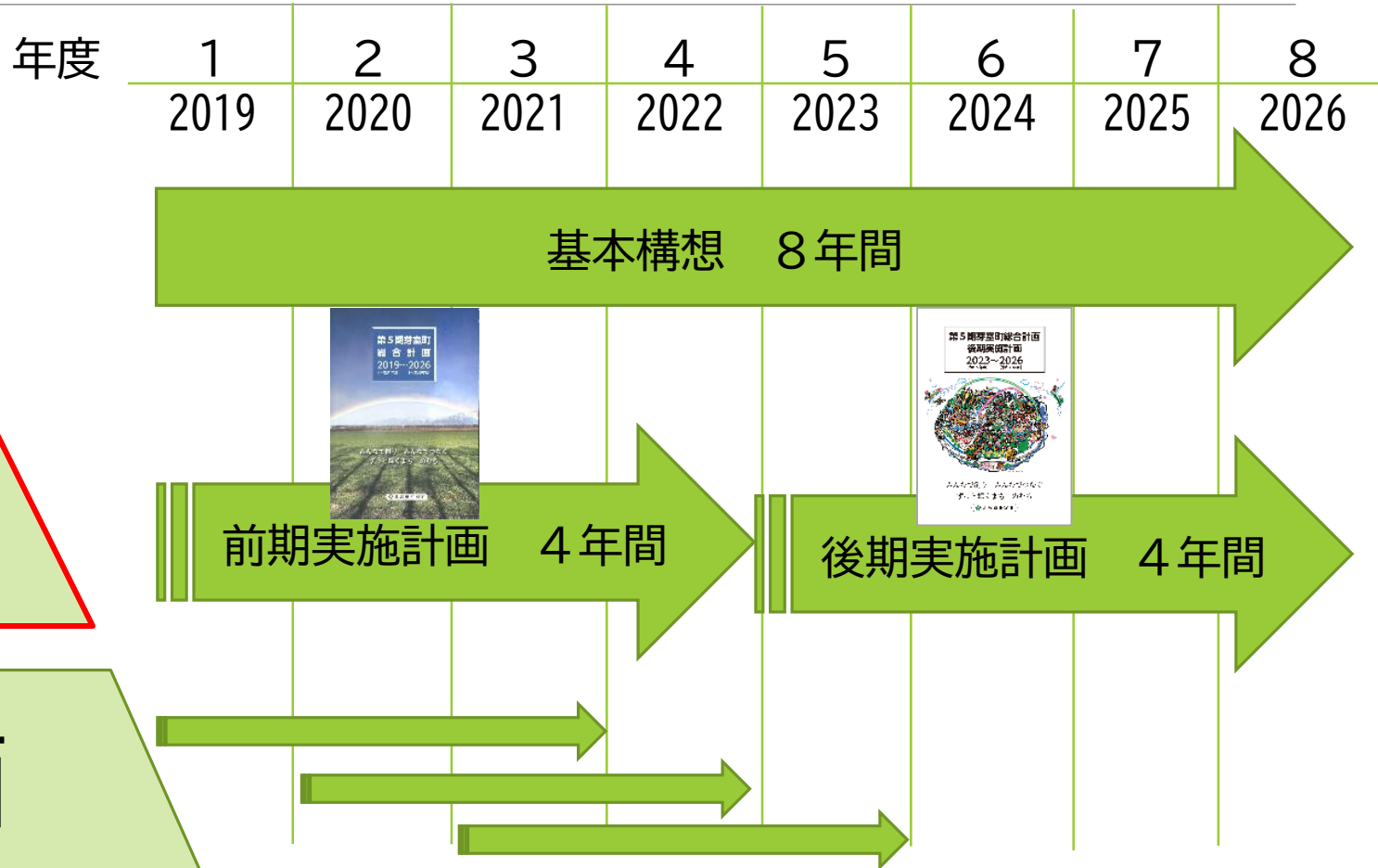
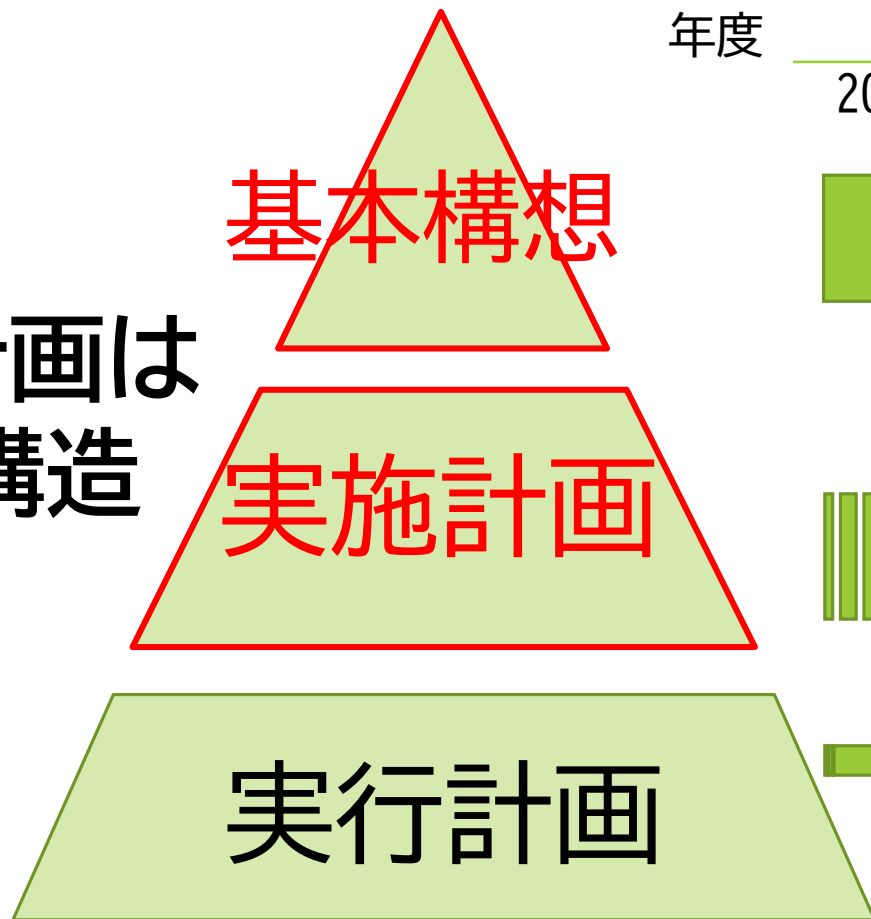
総合的・計画的な  
まちづくりのための基本的指針

まちづくりの計画として  
最も上位に位置付けられるもの

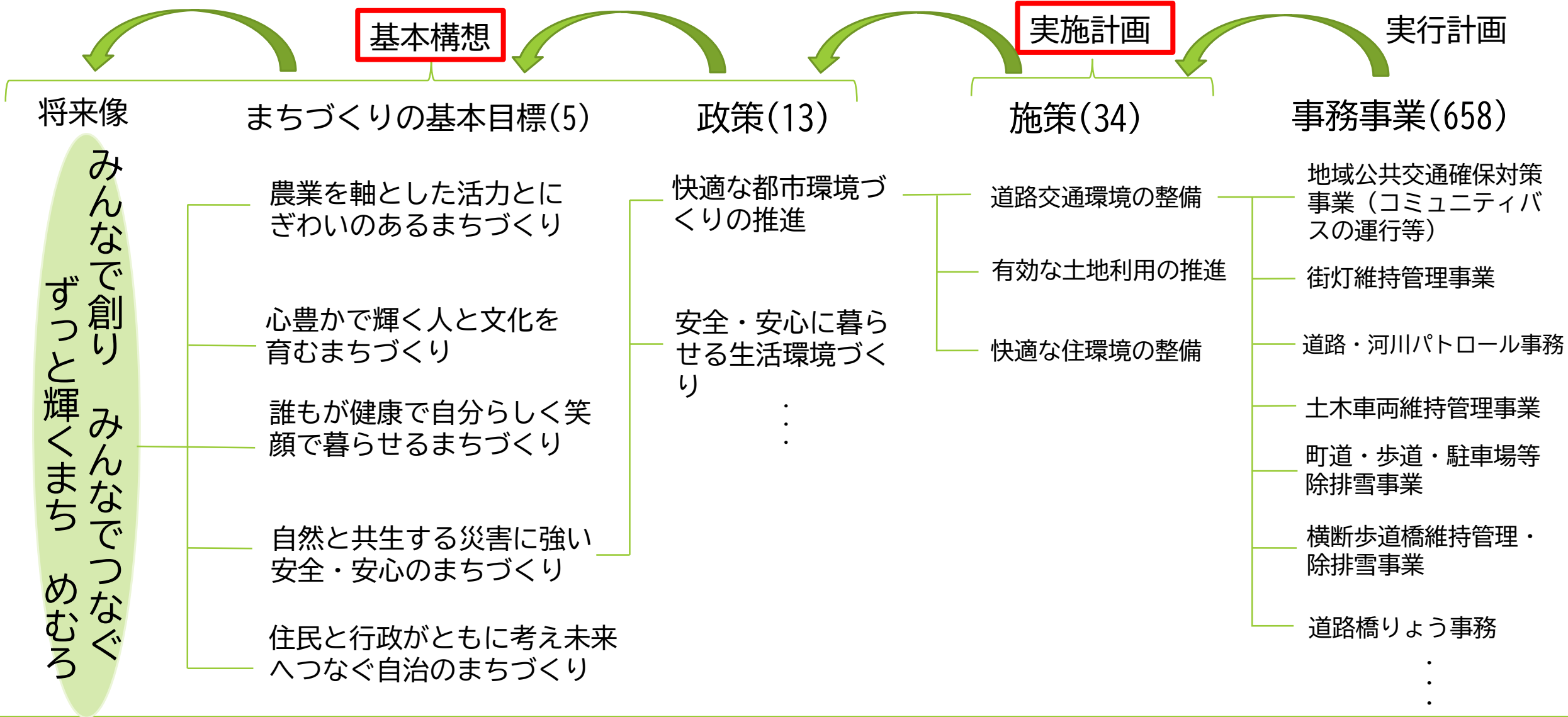
# 3. 総合計画の構成と期間

HPにも掲載  
しています

総合計画は  
3層構造



# それぞれが「目的と手段」の関係



## 4. 総合計画審議会とは

---

「芽室町総合計画審議会条例」より

第1条 芽室町の総合計画を推進し、その円滑なる遂行を期するため、町長の附属機関として、芽室町総合計画審議会を置く。

## 5. 総合計画推進のために

---

- ① 施策評価の審議(8～11月)
- ② 第2期まち・ひと・しごと創生  
総合戦略改定の審議(12月予定)

# 6. 総合計画審議会・専門部会

## 総合計画審議会

専門部会へ、総合計画の推進に必要な事項の審議を依頼し、結果の報告を受けて**最終的な決定**をする。

15名

依頼



報告



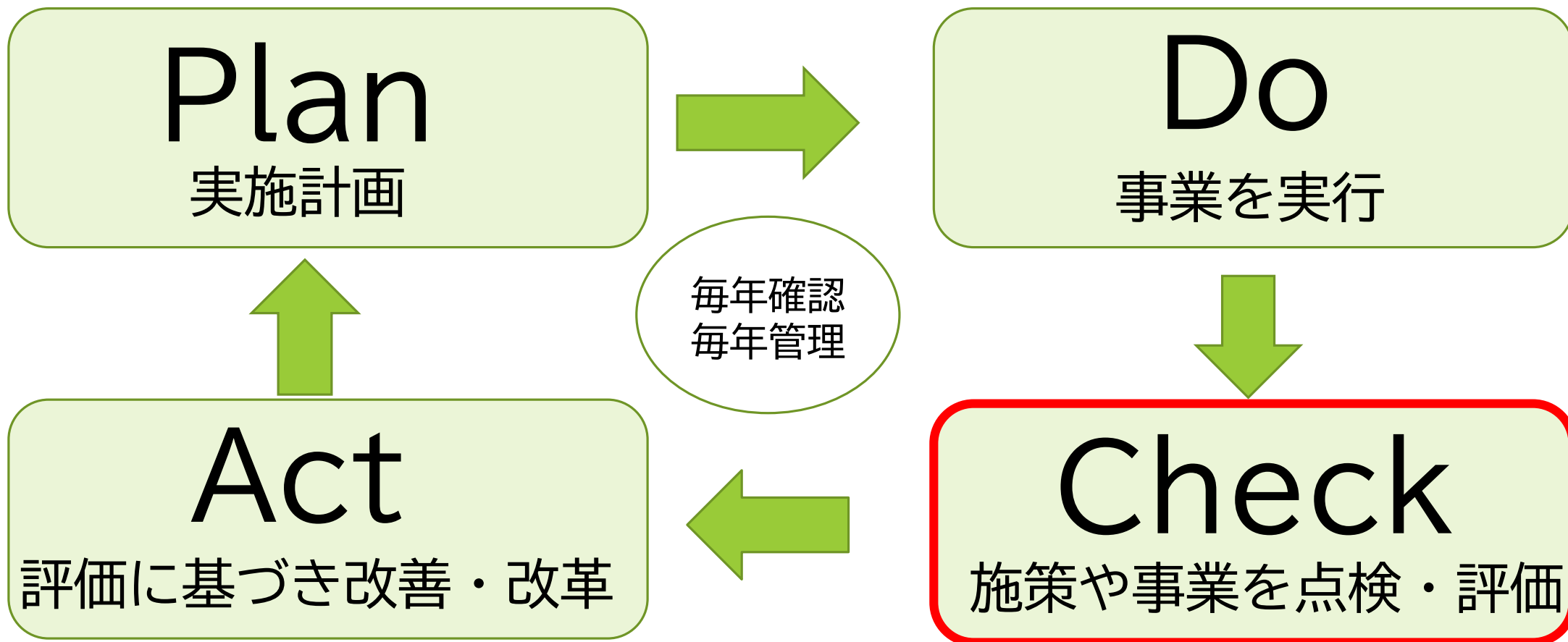
## 専門部会

審議会の依頼を受けて、必要事項の審議を行い、その結果を審議会へ報告する。

22名



# 7. 施策評価について



# 8. 何を評価するのか

基本構想

令和4年度の施策(全34施策)

実施計画

実行計画

年度	1	2	3	4	5	6
実施	R1事業	R2事業	R3事業	R4事業	R5事業	R6事業
評価		R1事業	R2事業	R3事業	R4事業	R5事業

## 9. 施策評価の年間スケジュール

---

6月 施策マネジメントシート作成（各課長）

7月 庁内二次評価（経営戦略会議）

8～11月 外部評価（総合計画審議会）

12月以降 公表（町ホームページ）

# 10. 施策評価って何をするの？

- ・各施策に対する意見、提案
- ・各施策の進ちよく状況を5段階で評価

## <評価のポイント>

施策が目指す「結果」に対する進ちよく

- ①成果指標から評価
- ②取組内容から評価

※山崎教授の特別講演

## 計画策定時と比較して

- A…実現した
- B…大きく前進した
- C…前進した
- D…変わらない又は維持した
- E…後退した

# 11. 成果指標では測れない取組(例)

実施計画冊子 (148~149ページ)

施策5-1-1

徹底した情報共有と町民参加の促進

成果指標では測れない取組

## 1 現状と課題

町民が主役となったまちづくりを進めるためには、町民と行政が情報を共有し、町政に対する理解と信頼を深めることが必要…

## 2 施策の方針

対象	町民
意図	町民と行政との情報共有を行い、まちづくりに自発的に参加してもらう…
結果	町民のまちづくりへの参加意識を高め、町民が主役となったまちづくりを進める

## 3 施策の主な内容

(3) セキュリティ対策  
・個人情報の漏えいなどを防止するため、情報管理の強化と重要データの保護など、クラウド化を含めた情報セキュリティ対策のさらなる強化に努める。

## 4 施策の成果指標

成果指標	説明	基準値 (H29)	目標値 (R4)
①行政情報の公開や説明責任が果たされていると思う割合	住民意識調査	90.6%	90.0%以上
②町ホームページのサイトへの訪問者数	1日あたりの訪問者数の平均	406回	500回以上

# 12. 施策マネジメントシート①(1枚目上部)

2023年度 施策マネジメントシート【2022年度実績評価】 作成: 2023年 6月 6日

施策番号 5-1-1	施策名 徹底した情報共有と町民参加の促進	基本目標 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり	政策名 多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり
主管課 政策推進課	課長名 石田 哲	内 容 225	
施策関係課 総務課			

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図	結果
住民と行政が情報共有し、主体的なまちづくりへの参加を促進します。	町民	・町民と行政との情報共有を行い、まちづくりに自発的に参加してもらう	町民のまちづくりへの参加意識を高め、町民が主役となったまちづくりを進める

成果指標	説明	単位	策定時(2017年度)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標
① 行政情報の公開や説明責任が果たされていると思う割合	住民意識調査	%	90.6	71.8	71.6	76.1	77.8	90.0%以上
② 町ホームページのサイトへの訪問者の数(セッション数)	1日あたりの訪問者数の平均	回	406	512	873.5	1,246	1,428	500回以上
③								
④								

成果指標設定の考え方  
①策定時の90.6%は従来手法(「どちらでもない」を含む5択から、「どちらでもない」の回答を引いて再計算したものである)での調査結果であり、新手法(「どちらでもない」の選択肢を含まない4択)においても、同水準を目指すもの。  
②策定時の数値から、2割以上の増を目指すもの。

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	23,915	29,209	23,689	21,164	22,520
人工数(業務量)	2,0273	1,5751	1,6082	1,4842	1,4718

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察

①2022年度の成果評価(前年度との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①については、町の公式LINEにより、町情報の発信を増やしたことが要因と思われる。
②第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	①は未達で、②は達成。後期計画からの指標ではあるが、「行政からの情報発信方法が充実していると思う割合」は、89.9%と高く、概ね達成できたと考える。

(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括

①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	広報事業 広聴事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・新型コロナウイルスの影響により、団体別のめぐる未来ミーティングの実施回数は増えなかった。 ・オンライン形式のめぐる未来ミーティングについては、テーマを絞り実施した。 ・農村部の光ファイバー整備が終了し、順次供用を開始した。 ・令和3年5月から開始したLINE公式アカウントは、登録者数が順調に増加した。		

2023年度 施策マネジメントシート【2022年度実績評価】 作成: 2023年 6月 6日

施策番号 5-1-1	施策名 徹底した情報共有と町民参加の促進	基本目標 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり	政策名 多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり
主管課 政策推進課	課長名 石田 哲	内 容 225	
施策関係課 総務課			

施策が目指す「結果」

成果指標

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図	結果
住民と行政が情報共有し、主体的なまちづくりへの参加を促進します。	町民	・町民と行政との情報共有を行い、まちづくりに自発的に参加してもらう	町民のまちづくりへの参加意識を高め、町民が主役となったまちづくりを進める

成果指標	説明	単位	策定時(2017年度)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標
① 行政情報の公開や説明責任が果たされていると思う割合	住民意識調査	%	90.6	71.8	71.6	76.1	77.8	90.0%以上
② 町ホームページのサイトへの訪問者の数(セッション数)	1日あたりの訪問者数の平均	回	406	512	873.5	1,246	1,428	500回以上
③								
④								

成果指標設定の考え方  
①策定時の90.6%は従来手法(「どちらでもない」を含む5択から、「どちらでもない」の回答を引いて再計算したものである)での調査結果であり、新手法(「どちらでもない」の選択肢を含まない4択)においても、同水準を目指すもの。  
②策定時の数値から、2割以上の増を目指すもの。

評価対象年度の実績値

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	23,915	29,209	23,689	21,164	22,520
人工数(業務量)	2,0273	1,5751	1,6082	1,4842	1,4718

# 12. 施策マネジメントシート②(1枚目下部)

2023年度 施策マネジメントシート【2022年度実績評価】 作成: 2023年 6月 6日

施策番号 5-1-1	施策名 徹底した情報共有と町民参加の促進	基本目標 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり	政策名 多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり
主管課 総務課	政策推進課	課長名 石田 哲	内 線 225
施策関係課	総務課		

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図	結果					
住民と行政が情報共有し、主体的なまちづくりへの参加を促進します。	町民	・町民と行政との情報共有を行い、まちづくりに自発的に参加してもらう	町民のまちづくりへの参加意識を高め、町民が主役となったまちづくりを進める					
成果指標	説明	単位	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	
① 行政情報の公開や説明責任が果たされていると思う割合	住民意識調査	%	90.6	71.8	71.6	76.1	77.8	90.0%以上
② 町ホームページのサイトへの訪問者の数(セッション数)	1日あたりの訪問者数の平均	回	406	512	873.5	1,246	1,428	500回以上
③								
④								
成果指標設定の考え方	①策定時の90.6%は従来手法(「どちらでもない」を含む5択から、「どちらでもない」の回答を引いて再計算したもとの調査結果であり、新手法(「どちらでもない」の選択肢を含まない4択)においても、同水準を目指すもの。 ②策定時の数値から、2割以上の増を目指すもの。							

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	23,915	29,209	23,689	21,164	22,520
人工数(業務量)	2,0273	1,5751	1,6082	1,4842	1,4718

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察	
①2022年度の成果評価(前年度との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した
②第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった
想定される理由 ①については、町の公式LINEにより、町情報の発信を増やしたことが要因と思われる。 根拠(理由) ①は未達で、②は達成。後期計画からの指標ではあるが、「行政からの情報発信方法が充実していると思う割合」は、89.9%と高く、概ね達成できたと考える。	
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括	
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	広報事業 広聴事業
②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括) ・新型コロナウイルスの影響により、団体別のめむる未来ミーティングの実施回数は増えなかった。 ・オンライン形式のめむる未来ミーティングについては、テーマを絞り実施した。 ・農村部の光ファイバー整備が終了し、順次供用を開始した。 ・令和3年5月から開始したLINE公式アカウントは、登録者数が順調に増加した。	

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察	
①2022年度の成果評価(前年度との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した
②第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった
想定される理由 ①については、町の公式LINEにより、町情報の発信を増やしたことが要因と思われる。 根拠(理由) ①は未達で、②は達成。後期計画からの指標ではあるが、「行政からの情報発信方法が充実していると思う割合」は、89.9%と高く、概ね達成できたと考える。	
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括	
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	広報事業 広聴事業
②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括) ・新型コロナウイルスの影響により、団体別のめむる未来ミーティングの実施回数は増えなかった。 ・オンライン形式のめむる未来ミーティングについては、テーマを絞り実施した。 ・農村部の光ファイバー整備が終了し、順次供用を開始した。 ・令和3年5月から開始したLINE公式アカウントは、登録者数が順調に増加した。	

取組内容  
(事務事業)  
に関する記載

# 12. 施策マネジメントシート③(2枚目上部)

主管課長  
による  
評価結果

3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課 評価	行政情報の発信については、策定時より大きく前進したと考えるが、主体的なまちづくりへの参加については、大きく前進したとまでは言えず、トータルとしては、「前進した」と判断する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

A: 実現した  
B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  
C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した  
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した  
E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

「施策を取り巻く状況」と今後の予測

「施策を取り巻く状況」  
デジタル技術を活用した情報共有・町民参加が求められている一方で、対面型のニーズもあり、当面は、両手法を併用する必要がある。  
「今後の予測」  
自分の好きな時に、手軽な方法で情報を入手する手段を拡大していくことが成果の向上につながるものとする。

この施策に対して住民・審議会・議会からのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。

・情報発信については、アナログ的な手法を残してほしいとの意見がある。  
・LINEを活用した情報発信については、評価を受けることが多い。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

広報紙では、詳細かつタイムリーな情報を伝えきれないため、ホームページとの連携が必要である。  
SNSの積極的な活用とともに、アナログ的な手法も併用し、多くの町民に情報を届けられるように進めていく。  
LINEについては、町民との情報共有に有効な手段であり、町民視点での全庁的な活用を進めていく。  
オンライン形式のめむろ未来ミーティングの定例化など、時代に合わせた手法を実施していく。  
対面式のめむろ未来ミーティングについては、イベント時など、人が多く集まる場所で実施する方法もある。

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課 評価	行政情報の発信については、策定時より大きく前進したと考えるが、主体的なまちづくりへの参加については、大きく前進したとまでは言えず、トータルとしては、「前進した」と判断する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

A: 実現した  
B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  
C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した  
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した  
E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

## 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

「施策を取り巻く状況」と今後の予測

「施策を取り巻く状況」  
デジタル技術を活用した情報共有・町民参加が求められている一方で、対面型のニーズもあり、当面は、両手法を併用する必要がある。  
「今後の予測」  
自分の好きな時に、手軽な方法で情報を入手する手段を拡大していくことが成果の向上につながるものとする。

この施策に対して住民・審議会・議会からのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。

・情報発信については、アナログ的な手法を残してほしいとの意見がある。  
・LINEを活用した情報発信については、評価を受けることが多い。

評価を踏まえ、  
今後どのような  
取組を行うか

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	情報共有について、LINEなどを導入し、カスタマイズして徐々に使いやすくなったことなどから「前進した」と評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

A: 実現した  
B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  
C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した  
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した  
E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

今後の取組に対する意見

・農村部光ファイバーの活用や新たなSNSなど活用を進めてください。  
・生涯学習課のジモト大学や町内高校生生徒の活躍など、関連が想定される事務事業について施策上の繋がりを整理してください。

## 5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

「施策を取り巻く状況」と今後の予測

「施策を取り巻く状況」  
デジタル技術を活用した情報共有・町民参加が求められている一方で、対面型のニーズもあり、当面は、両手法を併用する必要がある。  
「今後の予測」  
自分の好きな時に、手軽な方法で情報を入手する手段を拡大していくことが成果の向上につながるものとする。

この施策に対して住民・審議会・議会からのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。

・情報発信については、アナログ的な手法を残してほしいとの意見がある。  
・LINEを活用した情報発信については、評価を受けることが多い。

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	情報共有について、LINEなどを導入し、カスタマイズして徐々に使いやすくなったことなどから「前進した」と評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

A: 実現した  
B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  
C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した  
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した  
E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

今後の取組に対する意見

・広報紙では、詳細かつタイムリーな情報を伝えきれないため、ホームページとの連携が必要である。  
・SNSの積極的な活用とともに、アナログ的な手法も併用し、多くの町民に情報を届けられるように進めていく。  
・LINEについては、町民との情報共有に有効な手段であり、町民視点での全庁的な活用を進めていく。  
・オンライン形式のめむろ未来ミーティングの定例化など、時代に合わせた手法を実施していく。  
・対面式のめむろ未来ミーティングについては、イベント時など、人が多く集まる場所で実施する方法もある。



# 12. 施策マネジメントシート④(2枚目下部)

役場内部による  
二次評価結果

(3)「施策の方針」表現に対する進捗結果(計画策定時との比較)		A	B	C	D	E
担当課 評価	行政情報の発信については、策定日より大きく前進したと考えるが、主体的なまちづくりへの参加については、大きく前進したとまでは言えず、トータルとしては、「前進した」と判断する。			○		

A: 実現した  
B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  
C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した  
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した  
E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

#### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>「施策を取り巻く状況」 デジタル技術を活用した情報共有・町民参加が求められている一方で、対面型のニーズもあり、当面は、両手法を併用する必要がある。</p> <p>「今後の予測」 自分の好きな時に、手軽な方法で情報を入力する手段を拡大していくことが成果の向上につながるものとする。</p>
この施策に対して住民・審議会・議会からのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<p>情報発信については、アナログ的な手法を残してほしいとの意見がある。</p> <p>LINEを活用した情報発信については、評価を受けることが多い。</p>

#### 5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取組むべき課題)

<p>広報紙では、詳細かつタイムリーな情報を伝えきれないため、ホームページとの連携が必要である。</p> <p>SNSの積極的な活用とともに、アナログ的な手法も併用し、多くの町民に情報を届けられるように進めていく。</p> <p>LINEについては、町民との情報共有に有効な手段であり、町民視点での全庁的な活用を進めていく。</p> <p>オンライン形式のめぐる未来ミーティングの定例化など、時代に合わせた手法を実施していく。</p> <p>対面式のめぐる未来ミーティングについては、イベント時など、人が多く集まる場所で実施する方法もある。</p>
--

#### 6. 経営戦略会議(庁内評価)

6. 経営戦略会議(庁内評価)		A	B	C	D	E
評価	情報共有について、LINEなどを導入し、カスタマイズして徐々に使いやすくなったことから「前進した」と評価する。			○		
今後の取組に対する意見	<p>・農村部光ファイバーの活用や新たなSNSなど活用を進めてください。</p> <p>・生涯学習課のジモト大学や町内高校生生徒の活躍など、関連が想定される事務事業について施策上の繋がりを整理してください。</p>	A: 実現した	B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した	C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した	D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した	E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

#### 7. 総合計画審議会(外部評価)

7. 総合計画審議会(外部評価)		A	B	C	D	E
評価						
今後の取組に対する意見		A: 実現した	B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した	C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した	D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した	E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

#### 6. 経営戦略会議(庁内評価)

6. 経営戦略会議(庁内評価)		A	B	C	D	E
評価	情報共有について、LINEなどを導入し、カスタマイズして徐々に使いやすくなったことなどから「前進した」と評価する。			○		
今後の取組に対する意見	<p>・農村部光ファイバーの活用や新たなSNSなど活用を進めてください。</p> <p>・生涯学習課のジモト大学や町内高校生生徒の活躍など、関連が想定される事務事業について施策上の繋がりを整理してください。</p>	A: 実現した	B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した	C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した	D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した	E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

#### 7. 総合計画審議会(外部評価)

7. 総合計画審議会(外部評価)		A	B	C	D	E
評価						
今後の取組に対する意見		A: 実現した	B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した	C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した	D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した	E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

審議会・  
専門部会  
委員評価

# 13. どうやって評価するの？

---

## (1) 通常方式

- ・施策主管課と委員個人が質疑を行い、審議会またはグループとしての評価を決定する

## (2) グループワーク(専門部会のみ)

- ・5～6人のグループで協議のうえ、評価を決定する
- ・進行役は※「市民ファシリテーター」

※市民ファシリテーターとは、プロや専門家ではなく、地域に住み続ける人が、

まちの話し合いの場にファシリテーションの視点を持って参加したり、話し合いの場をつくる人。

# 14. 施策評価・意見の反映

